

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【公表番号】特表2014-533184(P2014-533184A)

【公表日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-068

【出願番号】特願2014-541425(P2014-541425)

【国際特許分類】

A 61 F 2/38 (2006.01)

【F I】

A 61 F 2/38

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月9日(2015.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

従来技術では、ポストとガイドボックスとの間の意図的に設計される遊びの量は、膝の自然な関節に基づく2つの競合する考慮事項で必然的に決まる。ヒトの膝の複雑な関節経路を最小限に抑えるために、再置換用人工関節は、完全伸展時に高い抑制(high restraint)を提供するが、屈曲時にいくらかの緩みを提供するべきである。従来技術のいくつかの再置換用人工関節は、ポストとガイドボックスとの間に遊びがほとんどなく、このことは、完全伸展状態で望ましい高レベルの拘束を提供するが、屈曲時には望ましくない高レベルの拘束を提供する。一方、従来技術の他の再置換用人工関節はポストとガイドボックスとの間により大きい遊びを有し、このことは、完全伸展状態で好ましくない弛緩を提供するが、屈曲時には好ましい弛緩を提供する。しかしながら、従来技術の再置換用人工関節のどれもが、完全伸展時に高い抑制を提供せず、屈曲時に低い抑制を提供しないと考えられている。したがって、伸展時に高度の抑制を提供し、屈曲時にさらに低い抑制を提供することにより、自然膝の動きをより正確に促進する再置換用人工関節を提供することが望ましいであろう。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある(国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む)。

(先行技術文献)

(特許文献)

(特許文献1) 米国特許出願公開第2011/0125275号明細書

(特許文献2) 米国特許出願公開第2009/0319048号明細書

(特許文献3) 米国特許第6,475,241号明細書

(特許文献4) 米国特許出願公開第2009/0204221号明細書

(特許文献5) 米国特許出願公開第2011/0125279号明細書